

パナソニック(株)

製品種類: エアコン

機種名: CS-X406D2

販売年度: 2026年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	✓
2	再生資源・再生部品の使用	
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	✓
7	長期使用の促進	
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	
13	安全性	
14	情報の提供	
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

日中に比べて外気温が下がる夜間や、夏季、冬季に比べ外気温がゆるやかな春季、秋季においてはエアコンの運転状態は低能力状態である。つまり、省エネ効果を十分に得るには、単に高能力時の省エネ性だけでなく、低能力状態での省エネ性も極めて重要である。実使用状態からの風量制御と圧縮機制御を精緻に進化させ、低能力運転時に高効率動作を実現する「エコインバータ制御」、低負荷運転時の安定性を向上させる「エコロータリーコンプレッサー」を開発、製品の軽量・省資源化も考慮して同時に性能改善も実現する補助翼付プロペラファンを搭載した新省エネエアコンを開発した。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 減量化・減容化 [1]

【新規】

補助翼付プロペラファン採用。主翼（大羽根）と補助翼（小羽根）のハイブリッド構成による軽量化を実現。樹脂使用量16%削減※1。

※1 当社従来品CS-X405D2と新製品CS-X406D2の比較

2. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

エアコンの運転で長時間を占める室温安定時の最小運転出力を低減※2することで、省エネ※3を実現（冷房時）。エコロータリーコンプレッサー（アセンブルペーン機構の採用により低能力運転時に高効率な運転ができる技術）により冷房運転時の最小出力を約40%低減※2。

※2 最小冷房能力が、当社従来品CS-X404D2=0.5kW、新製品CS-X406D2=0.3kW

※3 運転安定時約1時間の積算消費電力量が、当社従来品（エコロータリーコンプレッサー非搭載）CS-X404D2=140Wh、新製品CS-X406D2=119Wh。当社環境試験室（約14畳）、外気温30℃、湿度60%、室温25℃となるように運転した場合。

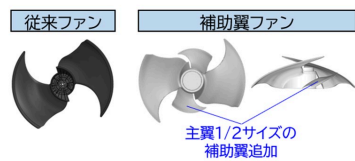
3. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

冷房運転の低出力化をエコインバータ制御で実現。快適な温度と湿度を保ちながら、省エネ※4が可能。

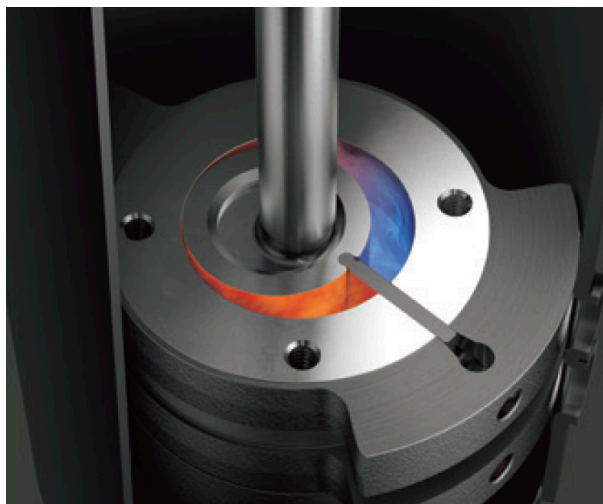
※4 運転安定時約1時間の積算消費電力量が、当社従来品（エコインバータ制御なし）CS-X403D2=287Wh、新製品CS-X406D2=242Wh。当社環境試験室（約14畳）、外気温35℃、設定温度27℃で運転した場合。

構造等の図

補助翼付プロペラファン
【画像番号1】



補助翼付プロペラファン



エコロータリーコンプレッサー